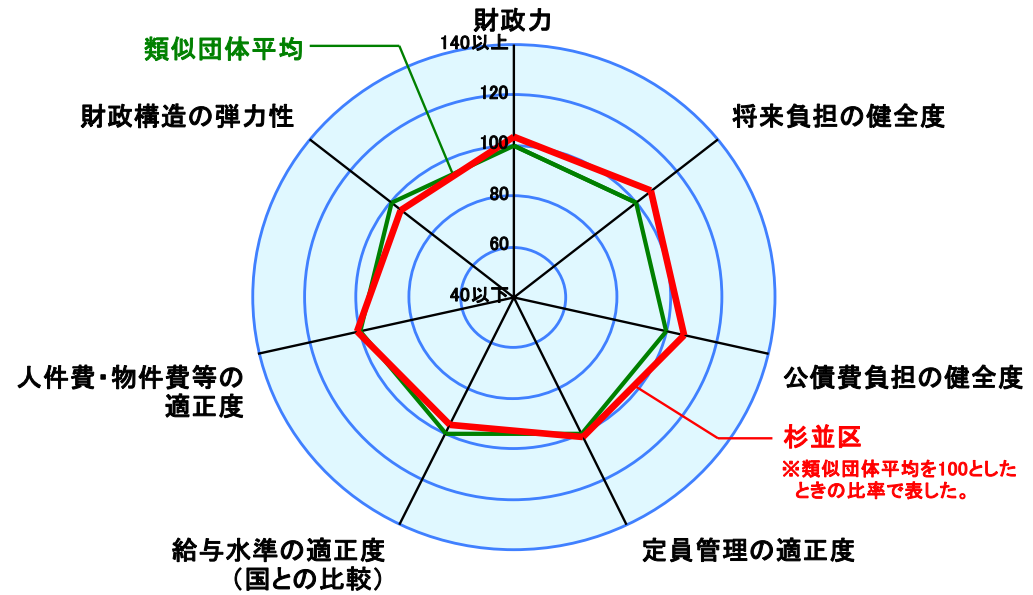
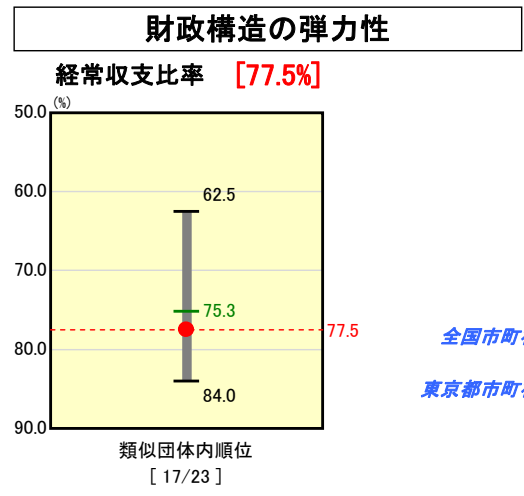
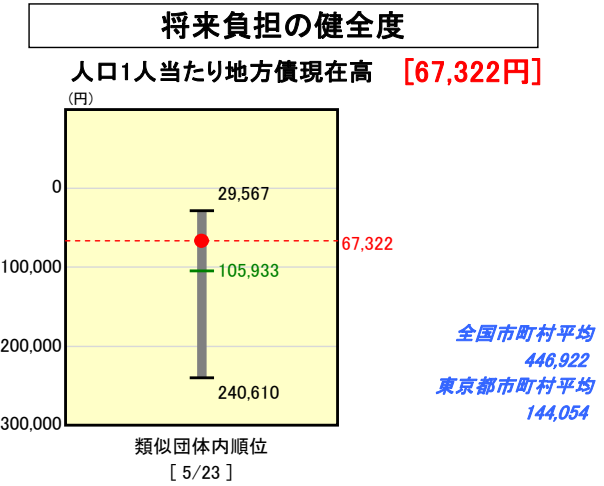
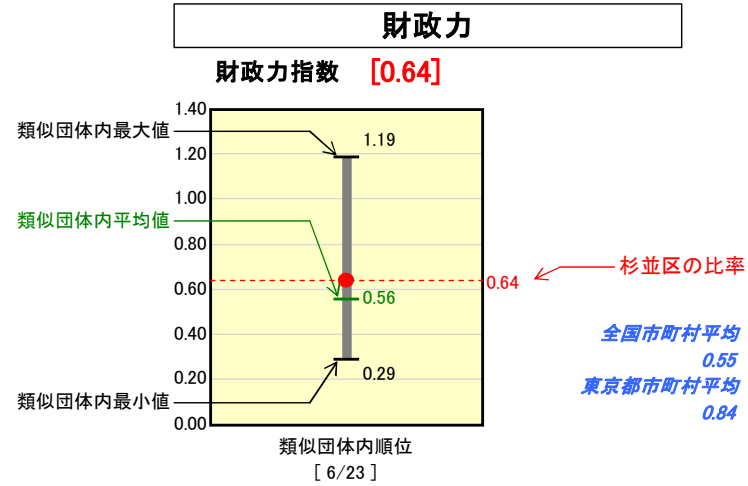


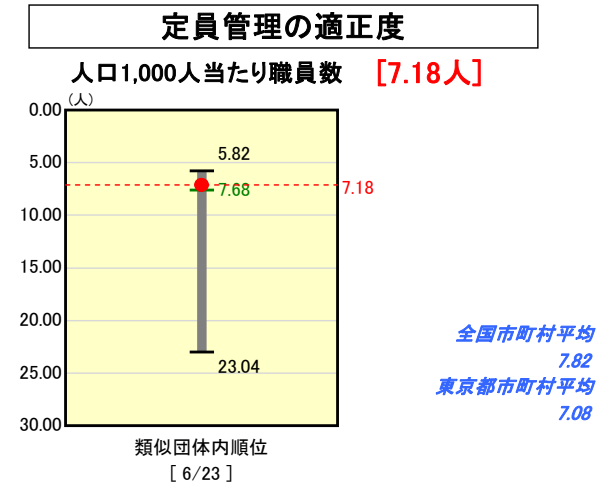
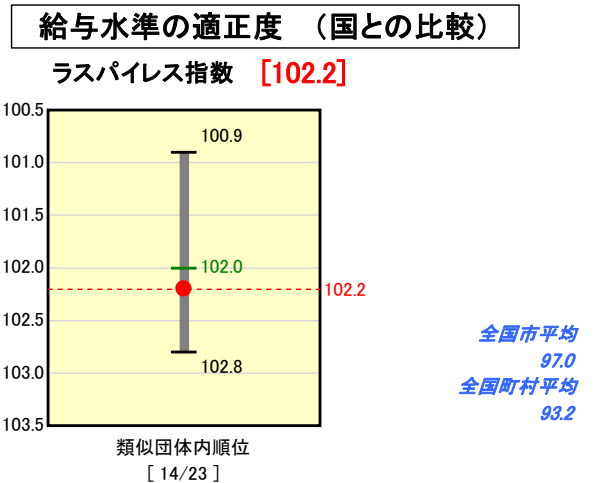
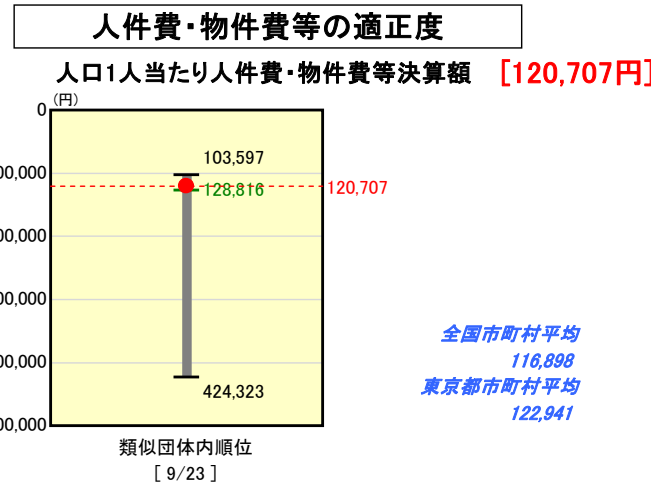
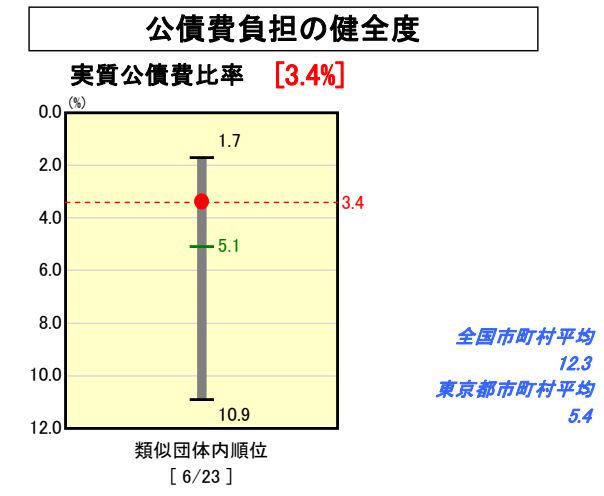
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 東京都 杉並区

人口	525,583 人(H20.3.31現在)
面積	34.02 km <sup>2</sup>
歳入総額	159,643,121 千円
歳出総額	150,887,199 千円
実質収支	8,125,657 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 平成14年度以降は0.64~0.69のほぼ横ばいで推移している。区は、平成12年度に、行財政改革の具体的な行動内容を定めた「スマートすぎなみ計画」を策定し、特別区民税等の滞納対策を実施するなど歳入の確保に努めるとともに、職員定数の削減や事務事業の民営化・民間委託、区民との協働の推進などにより歳出の効率化に取り組んできた。引き続き、行財政改革に取組み、財政の健全化に努める。

**経常収支比率:** 定率減税廃止による地方特例交付金(減税補てん分)の減や大量定年退職などの影響で77.5%となり、前年度の72.3%を5.2ポイント上回った。今後とも、更なる歳入の確保と歳出の抑制に取組み、目標値維持に努める。

**人口1人当たり地方債現在高:** 平成19年度は93億円を償還し、人口の増加もあり、昨年を2万6千円余下回った。今後も地方債発行の抑制に努め、将来の財政負担の軽減を図る。

**実質公債費比率:** 財政健全化を推進するため、新たな区債発行を行わず、繰上償還など地方債残高の縮減を図った結果、類似団体の平均的を1.7ポイント下回った。

**ラスパイルズ指数:** 職員の採用抑制に伴う平均年齢の上昇等により、前々年度に比べ若干上昇した。しかし、類似団体の中では概ね平均的な水準である。

**人口1000人当たり職員数:** 類似団体の平均より0.5人少なくなっている。今後も「スマートすぎなみ計画」等に基づき、事務事業の見直しや協働・民営化・民間委託などをさらに推進することにより、平成22年度までに12年度比で職員定数を1,000人純減する目標を達成する(今後2年間で230人、5.9%削減予定)。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 「スマートすぎなみ計画」等に掲げる職員定数の削減と、事務事業の見直しや民営化・民間委託、区民・NPOとの協働の推進などを着実に進めてきた結果、類似団体平均に比べ低くなっている。今後も引き続き事務事業を見直し、経費の抑制に努めつつ、質の高いサービスを提供する簡素な区役所を目指す。